



社会福祉法人
真宗協会

新春号

発行／社会福祉法人 真宗協会
広報編集委員会

博 愛

すべての人を平等に愛すること

迎春



平成16年1月5日 社会福祉法人 真宗協会仕事始め式

新年のご挨拶

社会福祉法人真宗協会

理事長 川上 直平

明けましておめでとうございます。
平成十六年の新春を迎えるにあたり、
一言ご挨拶申し上げます。

皆様におかれましては、輝かしい新年をご家族と共に迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

平素より、社会福祉法人真宗協会に対し深いご理解とご支援をいただきまして厚く御礼申し上げます。

平成十五年を振り返りますと、社会福祉を取り巻く環境が大きく変わった年でありました。

介護保険制度の見直しが発覚し、社会福祉基礎構造改革により措置制度中心のサービス提供体制が、利用者の選択による契約制度へと移行し、サービス提供についても、さまざまな主体の参入が進められるなど、我が国の福祉制度改革における重要な年でありました。

真宗協会は、こうした動向のなか「今、何をなすべきか」を直視し、地域福祉の向上を最大の視点とし、積極的な取り組みを続ける所存でございます。終わりに、皆様のご健康とご多幸を心から祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

法人ニュース

かわら版



ワゴンタイプの福祉車両

ダイイチより 福祉車両の寄贈

スーパーダイイチ様（小西保男社長）より、九月二十九日、創業四十五周年を記念し、当協会にワゴンタイプの福祉車両が寄贈された。ダイイチの小西社長をはじめ渡部取締役、倉本総務課長が帯広至心寮を訪れ、福祉車両を贈呈し齊藤専務理事からは感謝状が手渡された。

小西社長は「高齢者や体の不自由な方などに少しでも役に立てば」と話されていた。齋藤専務理事は、「今後はデイサービスの送迎、



齊藤専務理事からは感謝状が手渡された

入居者の通院や外出などにフル回転で使いたい」と感謝を述べた。今回、贈呈された福祉車両は車いす二台の搬送が可能で介助員を含め十名が乗車できる。

人居優先度 判定委員会



十勝毎日新聞社提供

人事考課制度委員会

平成十五年の事業活動

二十世紀型社会福祉の基盤整備が進むなか、真宗協会では新しい人事管理の考え方として人事考課制度を導入した。

社会福祉事業は、戦後半世紀続いた措置の時代から契約の時代へと大きく前進した。この新しい制度に適應するために、協会として自己改革を主眼に人事考課制度の導入に踏み切った。

「福祉は人なり」という言葉がありますが、新時代に即応する協会職員の良質な意識改革と優秀

な人材育成が組織力を育み、地域の多様なニーズに應える高度な福祉サービスの提供に繋がる。

平成十二年五月発足の社会福祉法人真宗協会給与規程検討委員会にて三年の準備期間を経て、平成十五年四月に人事考課制度導入と同時に、社会福祉法人真宗協会人事考課制度委員会として新たな活動を開始した。

帯広信楽苑の樋渡喜久雄施設長が継続し委員長に就任し、平成十五年も活発な委員会活動が行われる。

写真：十月十七日、平成十五年第三回人事考課者研修会が行われた。人事考課マニュアルの適正な運用について、委員長から講義を受ける主任職以上の職員。



講座：第3回人事考課者研修会

介護保険制度の施行により、特別養護老人ホームの利用が契約制度に変わるとなったため、入所申し込み者が増加している。予約的なものや重複申し込みも多く、本来施設サービスを受ける必要性が高いと認められる人が、直ちに入居することが困難な状況となっている。

そこで、帯広至心寮は十二月六日、市役所十階会議室において従来の申し込み順ではなく、入所の必要性が高い人を優先できるように、入所者の優先基準などを総合して検討した。

この日の委員会は委員六名、職員十四名が参加して行われ、今後は、三ヶ月に一度、同委員会を開催する予定。

齊藤施設長は「至心寮には二百四十人の待機者がいる。優先的な入所に関しては透明性・公平性に留意したい」と述べていた。

こちら情報局

【帯広信楽苑】文化祭



十一月一日・二日に信楽苑にて文化祭が行われた。ロビーでは、クラブや個人で作っている作品の展示や即売があった。

二日目は、文化祭メインの発表会があり、日頃自慢の歌を披露される方や楽器・手踊り・和太鼓・フットダンスなどの発表もあり来苑されたご家族の声援や拍手で大変な盛り上がりを見せた。

予防対策は万全！

インフルエンザ予防接種の実施

十二月に入るとインフルエンザの流行期を前に、早くも全国的にワクチンが不足した状況が伝えられた。

を中心に猛威を振るった新型肺炎の存在もあり、各施設流行過渡期の三月

がすぎるまで感染症対策に万全を期す。



【帯広マイトリリー】クリスマスパーティー

十二月十三・十四日にかけて、十勝川温泉雨宮館で帯広マイトリリー利用者・グループホーム利用者・父兄と合同でクリスマスパーティーを行った。今年は、利用者が働いている各事業所からも参加していただくという、初めての試みで



ゲームやカラオケをして大いに盛り上がり、最後まで笑い声が絶えなかった。

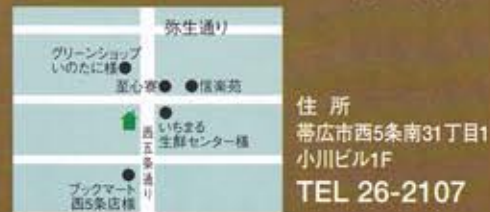


おすすめのお店「茶房竹仙」

今回は至心寮・信楽苑の近くにある、お抹茶の美味しい落ち着いた雰囲気のお和風喫茶をご紹介します。店内には季節を通していろいろなお花が飾ってあり、ゆったりとした時間を過ごせるおすすめのお店です。一度、足を運んでみてください。



●煎茶セリー 四〇〇円
●お抹茶（おかし付） 五〇〇円



住所 帯広市西5条南31丁目1 小川ビル1F
TEL 26-2107

作品紹介
あーとぎやらりー
ART GALLERY

金賞

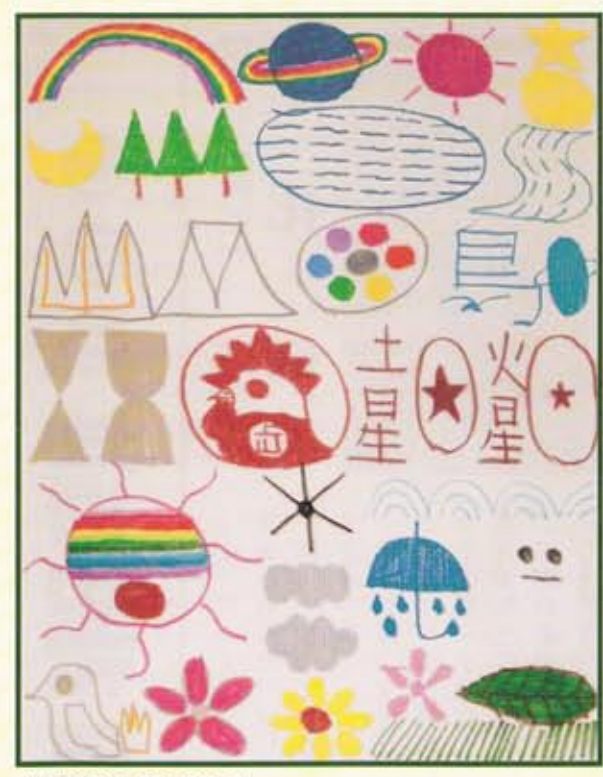
小菊咲き 夫が好みの投げ入れや
菊という字を 書いては眺め

帯広至心寮坪原マサエさんが今年の「おびひ
る菊まつり」の短歌展にて見事、最高賞の金
賞を受賞した。亡き夫を思い詠んだ歌との事。
そこで新春号にとお願いし快く詠んでいた
いたのが次の歌です。

初日の出 松竹梅も輝いて
四海のめぐみ 礎硬し



帯広光南病院
2F病棟の皆さんが
リハビリを兼ねた
折り紙の作品。



帯広はちす園
三田和也さんの作品 (絵)
「宇宙のファンタジー」



帯広信楽苑
森田春次さんの作品 (絵手紙)
「じいちゃんはげんき」



帯広信楽苑
宇佐美信子さんの作品
「ペコ・ポコちゃんぬり絵」

帯広光南病院 中井 とわさん
明治四十一年生まれ (九十六歳)



ペットの上でじっと
しているのではなく
何か自分にできるこ
とを見つけた。

帯広慈光学園 平岡 秀樹さん
昭和五十五年生まれ (二十四歳)



今年もみんなと元気
で仲よく生活してい
きたい。

帯広信楽苑 吉岡 キクエさん
大正九年生まれ (八十四歳)



今年も元気で千羽鶴
を折って七夕に飾り
たいです。

帯広やわらぎ園 西島 祥隆さん
昭和五十五年生まれ (二十四歳)



今年こそは、札幌ド
ームへ行ってコンサ
ドレ札幌を応援し
たい。

帯広光南病院 八巻 ミヨさん
明治四十一年生まれ (九十六歳)



お花見に行ってお
いしいものが食べたい
な。

今年にかける思い

「いきいきLife」は、当法人施設
を利用されている方々を紹介してい
ます。今回は新春号と言う事で大き
な希望を持っている年男・年女の利
用者・職員の方にスポットをあてて
みました。



帯広光南病院 職員 成清 道子さん
昭和三十一年生まれ (四十八歳)



今年は何回目の年女
ということ、いつ
も今年こそは...
と考えるけれど中途
半端で一年が終わっ
てしまっています。でも
仕事においては、初
心忘れるべからずの
気持ちで患者様に接
します。

帯広はちす園 清水 裕二さん
昭和五十五年生まれ (二十四歳)



僕は、仕事を頑張っ
て就職したい。

帯広信楽苑 大場 正義さん
昭和七年生まれ (七十二歳)



去年は、体調を悪く
して入院しましたが、
今年も元気で暮らし
たい。

帯広信楽苑 真鍋コズギさん
大正九年生まれ (八十四歳)



今年も、自分の心に育て
たいものがあります。少しず
つでもより伸びることが出
来るよう、自分なりに努力
したいものです。

帯広信楽苑 職員 玉田 裕子さん
昭和十九年生まれ (六十歳)



今年も、利用者の皆
さんに喜んでいただ
ける食事作りに努め
ます。

帯広信楽苑 職員 滝口 弘子さん
昭和十九年生まれ (六十歳)



自分なりに転換期の年にな
りそうですが、見ザル聞か
ザル言ワザルではなく良く
見て、聞き、発言が言える
一年でありたい。

帯広慈光学園 盛川 佳孝さん
昭和四十三年生まれ (三十六歳)



学園の畑仕事をがん
ばり、実習に出れる
ようにしたい。

帯広光南病院 梅本 俊子さん
大正九年生まれ (八十四歳)



暖かくなったら車椅
子を外を散
歩したい。

帯広はちす園 職員 坂本 徳子さん
昭和十九年生まれ (六十歳)



健康第一。そして公
私ともども充実した
幸せな一年にしたい。

帯広至心寮 菅谷 シズ子さん
大正九年生まれ (八十四歳)



ひ孫のせなちゃん
と一緒に買物に出掛け、
服を買ってあげるの
を楽しみにしていま
す。





二度目のエージ・シュート
帯広光南病院 川上哲平 院長

皆さんは、エージ・シュートを知っていますか？ ゴルフアーの究極の目標と言われる1ラウンドの打数を自分の満年齢又は、それ以下で回った場合をエージ・シュートといいます。
平成十四年七月二十五日の快挙に続き、平成十五年七月二十六日帯広白樺カントリークラブにて、二度目のエージ・シューターとなった川上院長（十

勝管内では：怪物：と言われているは、ゴルフ歴三十九年ですが「毎日の練習の積み重ねとゴルフに対する熱意と向上心がなければならぬ」と話されている。



川上院長の偉業は、まだまだ続くであろう。

勤続30年おめでとうございます。

障害者支援一筋三十年

十二月十一日、北海道ホテルにおいて法人の理事会・評議員会が開催され、その後の懇親会で法人長期勤続職員表彰が行われた。十年表彰十三名、二十年表彰三名、三十年表彰二名に齋藤専務理事より表彰状が贈られた。

その中の三十年表彰者二名を紹介する。

帯広慈光学園
支援員 松本まゆみ



帯広慈光学園
支援員 竹内光子



このたびは誠にありがとうございます。不安や失敗に負けず今日まで三十年勤める事が出来ましたのは、利用者の皆様の笑顔と、共に同じ目的に向かって勤める職場の皆様のおかげと感謝致しております。

今風に言うところ「うっそー」と思うくらい、あつという間の三十年でした。当時の施設長に「三年はいて下さい。」と言われ「はい」と言ったものの不安でいっぱい。でも皆様に支えられ、やってこれました。

かんたんクッキング
「みつばのトビッコ和え」



- 【材料】
- みつば 1束
 - トビッコ 20g
 - アラスカ 3本
 - ごま油 小さじ1
 - 醤油 小さじ3
- ①みつばをさつと湯に通し、冷水に浸してあら熱をとる。
 - ②みつばを3cm程度に切りそろえ、水気をしっかり取る。
 - ③アラスカを細くほくほくしておく。
 - ④食べる直前に、すべてを混ぜ合わせてできあがり。
- ☆みつばの香りとトビッコのプチプチ感が絶妙！是非、一度お試しください。

お礼
十勝沖地震

平成十五年九月二十六日午前四時五十分、道東を中心に十勝沖地震（震度5強）が発生しました。その後、何日も余震があり不安な日々が続きましたが、真宗協会の七施設は被害がありませんでした。

今回の地震を機に、より一層危機管理体制の見直しを行ない、今後も利用されている方々の安全に最善を尽くして行きたいと考えております。ご心配をいただいた皆様に、この場をお借りし厚くお礼申し上げます。

編集後記

今年は申年ということで、「〇〇〇は去る」という言葉が聞きますが、戦争・SARS・不景気など悪いことには去ってもらい、今年は穏やかに楽しく過ごせる幸せな一年にしたいですね。広報誌「博愛」も2回目の出版でまだまだ成長過程ですが、皆さんに末永くご愛読していただけるものに行きたいと考えています。

社会福祉法人 真宗協会
帯広市西五条南三丁目十番地
TEL 〇一五五（二四）五五六一